

研究所

■ 附属研究施設

法政大学にはさまざまな分野にわたる附属研究施設が設置されています。いずれも高度な専門研究・調査機関として数多くの実績をあげており、学外の研究者や産業界との共同研究も盛んで、研究・調査活動の成果は叢書や報告書、講演会、シンポジウムなどによって学会や一般に公開されています。また、各研究所の設置や資料・蔵書などは研究者のほか一般にも公開されていることが多く、大学院学生も利用できます。(2016年4月現在)

■ 野上記念法政大学能楽研究所

漱石門下の英文学者で、能楽研究に新生面を開拓した本学元総長・野上豊一郎博士の功績を記念して設立された、わが国有数の能楽総合研究機関です。最大の特徴はその豊富な蔵書です。「鴻山文庫」「般若窟文庫」ほか特色ある文庫も含め、室町期以降の写本・版本、明治以降の活字本・雑誌その他、4万冊を数えます。



<http://nohken.ws.hosei.ac.jp/>

■ 法政大学沖縄文化研究所

本研究所は沖縄が日本に復帰した1972年に設立されて以来、沖縄・奄美地域の文化を総合的に研究しています。研究所内には学生や一般の方が利用できる閲覧室があり、沖縄関係の書籍や研究所が所蔵している資料を閲覧することができます。また、毎週金曜日に総合講座「沖縄を考える」を開講し、沖縄県内からも多くの講師をお迎えしています。沖縄研究に関して国内外の研究者を結ぶネットワークの拠点としての役割を担っています。



<http://www.hosei.ac.jp/fujimi/okiken/>

■ 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター

イノベーションをキーワードに産学官連携を図り、産業・経営に関する学術交流と研究を行います。社史や各省庁などの発行する「定価のない資料」を中心に、経済系では国内最大の蔵書(約25万点)を公開しています。2009年、流通・消費財産業に特化した流通産業ライブラリーを設立しました。

<http://riim.ws.hosei.ac.jp/>

■ 法政大学国際日本学研究所

本研究所は、文部科学省「21世紀COEプログラム」に国際日本学が研究プログラムとして採択されたのを機縁に、世界に開かれ、諸学問に開かれた国際日本学の研究拠点として、2002年に設立されました。グローバル化が進む目下の世界の趨勢の中で新たな日本像を確立させることが本研究所が担う、国際日本学研究所の使命です。

<http://hijas.hosei.ac.jp/>

■ 法政大学大学院特定課題研究所

大学院特定課題研究所は、本学専任教員が研究代表者となって、受託研究費などの学外資金により共同研究を行う場合に5年間を限度に設置できる時限的研究所です。既に設置された研究所は30を数え、大学院修了者が共同研究者となっている研究所もあります。

- 大原社会問題研究所
- イオンビーム工学研究所
- 情報メディア教育研究センター
- 沖縄文化研究所
- スポーツ研究センター
- ボアソナード記念現代法研究所
- 野上記念法政大学能楽研究所
- 日本統計研究所
- 比較経済研究所
- イノベーション・マネジメント研究センター
- 国際日本学研究所
- サステナビリティ実践知研究機構
- 地域研究センター
- エコ地域デザイン研究センター
- サステナビリティ研究所
- マイクロ・ナノテクノロジー研究センター

■ 法政大学大原社会問題研究所

1919年に設立された本研究所は、多摩キャンパスに置かれ、社会科学の分野では、わが国で最も古い歴史を持つ研究所として知られています。現在も、社会・労働問題に関する研究調査を進めており、数多くのプロジェクトによる研究成果は、「大原社会問題研究所雑誌」「日本労働年鑑」や「大原社会問題研究所叢書」として発表されています。

研究所所蔵の図書・資料は、社会・労働問題関係図書をはじめとする図書約19万冊、その他資料多数にのぼります。インターネットを通じた情報公開と研究支援も展開しています。なお、2013年4月1日より、旧サステナビリティ研究教育機構環境アーカイブスが本研究所に統合されました。



<http://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/>

■ 法政大学イオンビーム工学研究所

法政大学創立100周年記念として設立された、2台の加速器を所有する国内の私立大学の中で数少ない研究所です。物質中の元素の深さ分布の定量測定や生体および環境物質中の元素分析が可能な分析用加速器と、半導体などの物質改質用のイオン注入加速器を用いて、国内外の研究者と共同利用研究を実施しています。毎年、学術講演会「イオンビーム工学シンポジウム」を開催しており、国公私立大学、国公立研究所、民間企業の研究機関などから多数の研究者が参加しています。研究成果の一部は「法政大学イオンビーム工学研究所報告(欧文、和文)」として毎年刊行しており、また、イオンビーム利用の科学教育についてNHKの取材にも協力しています。

<http://www.ionbeam.hosei.ac.jp/>

■ 法政大学サステナビリティ実践知研究機構(地域研究センター)

企業、地域社会、政府機関、NPOなどとの連携を恒常的に構築し、本学の蓄積された知識を社会のニーズに応じて発信・提供しています。具体的には、地方自治体などへの政策支援、地域経済の基盤となる中小企業の支援、地域住民やNPOへの情報提供や教育支援、海外の地域振興の先進事例の調査・研究、行政機関・地方自治体などの協働による新しい教育実現などさまざまな活動を行っています。(全国16の自治体と協定し、遠隔授業をはじめとする多様な事業を展開中)

<http://www.hosei-hurin.net/>

■ 法政大学サステナビリティ実践知研究機構(マイクロ・ナノテクノロジー研究センター)

2003年度に、文部科学省の「私立大学学術研究高度化推進事業」ハイテクリサーチセンター整備事業の採択を受けて設立。2013年度に文部科学省の「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」(5年間)に採択された、「グリーンテクノロジーを支える次世代エネルギー変換システム」プロジェクトに基づく研究が進められています。

<http://www.hosei.ac.jp/nano/>

大学院博士後期課程在籍者もリサーチ・アシスタント(R・A)として参加することができるようになっており、大学院の研究機能の強化と併せて、大学院学生の研究能力の向上に資することが期待されています。

施設一覧

■ 図書館

法政大学には、3キャンパスにそれぞれ図書館があります。学習用図書・学術図書・政府刊行物を合計で約173万冊所蔵しています。この他新聞・雑誌・マイクロフィルムなどさまざまな資料があります。この中に、俳人・歌人である正岡子規や梅謙次郎、和辻哲郎、三木清の蔵書など、貴重なものを多数含んでいます。

平日の開館時間については、市ヶ谷図書館は夜10時まで、多摩・小金井図書館は夜9時まで。土日祝日も開館しており、年間約320日オープンしています。通うキャンパスにかかわらず、いずれの図書館も利用できます。また他のキャンパスの図書館から資料を取り寄せて貸出・返却もでき、各種データベースや電子ジャーナルも利用できます。



■ 市ヶ谷図書館

市ヶ谷キャンパス「80年館」にあり、地下4階から地上2階までの6フロアで構成されています。また市ヶ谷田町校舎に閲覧室、富士見坂校舎にラーニングcommonsがあります。和・洋図書約736,000冊の他、和・洋雑誌、新聞約9,600タイトルを所蔵しています。



■ 多摩図書館

多摩キャンパスのほぼ中央となる図書館・研究所棟の中にあります。地下2階から地上4階までの合計6フロアで構成されています。和・洋図書約834,000冊の他、和・洋雑誌、新聞約10,400タイトルを所蔵しています。



■ 小金井図書館

小金井キャンパス南館に閲覧室・ラーニングcommons・メディアライブラリー・書庫があり、これらの施設を利用できます。多数の和・洋図書の他、和・洋雑誌、新聞約2,900タイトルを所蔵しています。

net ラウンジ(大学院棟2F)



デスクに設置されたノートパソコンでネットワークを利用できます。

free ラウンジ 自習室(大学院棟13F)



高層階からの眺望が楽しめる開放的なスペースで、パソコンを利用し自習することができます。

スタディ・ルーム(大学院棟3F)



無線LANを配備し、個別に区切られたブースで落ち着いた自習することができます。

ボアソナード・タワー



地上27階、地下4階の市ヶ谷キャンパスのシンボル。最新設備の研究施設や教室、食堂などがあります。

薩埵ホール(外濠校舎)



870名収容。省エネルギーESCO事業を導入し、講演会・セミナーや進学相談会などが行われます。

キャリアセンター(外濠校舎)



就職活動やキャリア形成をサポート。相談ブースや就職資料を閲覧できるコーナーがあります。

グローバル教育センター(富士見坂校舎)



留学生の、各種奨学金の申し込みや資格外活動、医療費補助の相談などのサポートを行っています。

スカイホール(ボアソナード・タワー)



国際会議や学会・行事に利用される多機能スペース。同時通訳システムやAVシステムなどの設備があります。

市ヶ谷田町校舎食堂



バイキング形式による食事ができます。その他に、麺類や丼物などのメニューもあります。